Red Hat OpenShift：先進的なアプリケーション・プラットフォームの 5 つの柱

Red Hat® OpenShift® は Kubernetes をさらに拡張したアプリケーション・プラットフォームであり、包括的でスケーラブルなアプリケーション開発環境を提供します。Red Hat OpenShift を使用すると、あらゆる環境で仮想マシン (VM)、コンテナ、AI をセキュアに構築、実行、管理できます。ここでは、Red Hat OpenShift でモダナイズすべき 5 つの理由をご紹介します。

1 AI 活用アプリケーションの立ち上げを迅速化

Red Hat OpenShift は、AI ネイティブ・アプリケーションと既存のワークロードを並行して動作させることができる、プロダクション対応の統合プラットフォームを提供します。このエンタープライズ基盤により、将来的に AI プラットフォームを採用する際に、運用の中断をはさむことなく導入できるようになります。そのメリットには以下のようなものがあります。

- **AI を活用したアプリケーション・プラットフォーム：**インフラストラクチャ管理を単純化し、AI プラットフォームを支える統合基盤上で自信を持ってスケーリングさせることができます。Red Hat OpenShift Lightspeed などのツールを使用すれば、状況に応じたガイダンスを即座に取得できます。
- **グラフィックス・プロセッシング・ユニット (GPU) をコスト効率よく使用：**1 つのワークロードに高価な GPU 全体を割り当てるのではなく、コンピューティング能力をスライシングしてタスクごとに適切な分だけ割り当てます。容量が使われずに放置されることをなくし、無駄を削減できるため、GPU を追加で購入することなくより多くのワークロードをサポートできます。
- **ソブリン AI インフラストラクチャ：**AI 活用アプリケーションを実行する場所や機密データを保持する場所を、コアからクラウド、エッジまでも含めて管理できます。また、ネットワーク接続がない、あるいは不安定な環境でも、データのセキュリティを保護できます。

2 場所を問わずアプリケーションを構築、デプロイ、実行

標準化および自動化されたワークフローとセルフサービスツールで、プロダクション展開へと至るプロセスを加速します。これにより、ローカル環境からプロダクションまで、アプリケーションの開発と提供を迅速に一貫して行うことが可能になります。開発者は次のようなメリットを得られます。

- **アジリティ：**Red Hat Developer Hub テンプレートや Red Hat OpenShift Dev Spaces の Web 統合開発環境 (IDE) などのセルフサービスツールを提供できます。Podman Desktop の Red Hat ビルドを使用すれば、プロダクションと同じ環境をローカルに作成してコンテナの構築やテストを行うことができます。
- **オンデマンドでスケーリングできる保護されたパイプライン：**Red Hat OpenShift Pipelines でアプリケーションの構築と提供を自動化できます。オンデマンドでのスケーリングと、粒度の細かいセキュリティ制御が可能です。
- **継続的デリバリーと GitOps：**Red Hat OpenShift GitOps を使用すれば、信頼できる唯一の情報源から複数のクラスタにアプリケーションをデプロイできます。これにより、構成ドリフトの問題を解決して一貫性を確保できます。
- **開発のセキュリティ：**Red Hat Advanced Developer Suite はセキュリティとポリシーのガードレールを開発ライフサイクルに直接組み込む拡張機能であり、これを使用することでワークフローを効率化できます。

3 詳細にわたる可視性と運用インテリジェンスを獲得

標準の Kubernetes はステータスチェック機能を提供しますが、Red Hat OpenShift では包括的なヘルスチェックを行うことができます。問題を発生する前に発見して修正するのに役立つ、次のような機能があります。

- **フリート全体のガバナンス：**Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes を使用すると、あらゆるクラウドおよびデータセンター環境の全アプリケーションの健全性を単一のコンソールで監視および管理できます。

- **マイクロサービスの視覚的なマップ：**Red Hat OpenShift Service Mesh により、コードを変更することなくマイクロサービスベースのアプリケーションを接続、管理、監視し、セキュリティを提供できます。
- **フルスタックの可観測性：**監視、ロギング、トレースの統合により、ハイブリッドクラウド全体を単一の統合ビューで表示し、詳細なインサイトを得ることができます。また、手作業の負担なしでアプリケーションの信頼性を維持することも可能です。

4 セキュリティと主権を大規模に確保

単一のクラスタでもマルチクラウドのフリートでも、同じエクスペリエンスが得られます。妥当性と機能性を検証済みのこのプラットフォームスタックはグローバルな一貫性をもたらし、セキュリティポスチャと運用標準を自動的に適用します。エンタープライズが必要とするセキュリティと主権を実現する、次のようなメリットがあります。

- **強固な Linux® 基盤：**Red Hat OpenShift の基盤であり、透明性のあるオープンなオペレーティングシステムとして 30 年以上にわたって信頼され、実績を積み重ねてきた Red Hat Enterprise Linux で標準化できます。
- **制御の適用：**Advanced Cluster Management を使用してポリシーを維持し、構成ドリフトをなくせます。ポリシーは一度設定すればフリート全体に適用して追跡できます。
- **包括的な保護：**Red Hat Advanced Cluster Security でリアルタイムの脅威検出とリスクプロファイリング、強化されたマルチテナンシー、ポリシーのガードレールを提供し、ワークロードをコード作成時からクラウドへの展開後まで保護できます。
- **信頼できるサプライチェーンとアーティファクト：**拡張オファリングの Red Hat Trusted Software Supply Chain は、信頼できる検証済みのアーティファクトのみが使用およびデプロイされることを保証します。これにより、セキュリティのガードレールを統合できます。

5 ハイブリッドクラウド全体でワークロードを管理

Red Hat OpenShift は、あらゆるクラウドで仮想化アプリケーション、コンテナ化アプリケーション、AI アプリケーションを運用するための包括的なアプリケーション・プラットフォームとなり、あらゆる種類のワークロードを管理できる共通のインタフェースを提供します。そのメリットには以下のようなものがあります。

- **一貫性のあるハイブリッドブリッジ：**クラウドサービスとセルフマネージド・クラスタのいずれの Red Hat OpenShift を使用した場合でも、オンプレミス、クラウド、エッジで同じ運用体験と管理ツールを使用できます。
- **柔軟なモダナイゼーション：**Red Hat OpenShift Virtualization により、統合されたネットワークとセキュリティを備えた単一のコントロールプレーン上で VM、コンテナ、サーバーレス・アプリケーションを管理および実行し、アプリケーション層のモダナイゼーションを段階的に進めることができます。
- **ネットワークとストレージ：**先進的なマイクロサービスで使用している高性能ネットワークとストレージをあらゆるワークロードで利用し、IT アーキテクチャを単純化してコストを削減できます。

今すぐ始める

Red Hat OpenShift での標準化は、将来に向けた適切な一歩となります。統合型のアプリケーション・プラットフォームからメリットを得る方法をご確認ください。

- e ブックを読む

Red Hat について

Red Hat は、受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1 800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1 800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#3767715_0326

Copyright © 2026 Red Hat, LLC.Red Hat、Red Hat ロゴ、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat またはその子会社の商標または登録商標です。Linux は米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。